

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県障害者援護協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		H18.9.1	～ H28.3.31	9年 7ヶ月
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		H28.4.1	～ R3.3.31	5年
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		R3.4.1	～ R7.3.31	4年
				10,019,000

2 施設の概要

所在地	韮崎市旭町上條南割3251-1
設置年月日	昭和48年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所、自立訓練(機能訓練)及び施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:9,060㎡ ○建築延べ面積:3,194.32㎡ ○施設の内容 ・肢体不自由者更生施設棟(鉄筋コンクリート造平屋建)3,002.29㎡ ・温室(鉄骨造平屋建)110.25㎡ ・農作業保管庫・陶芸室(鉄骨造平屋建)81.78㎡ ○各障害福祉サービスの定員 ・生活介護:45人 ・短期入所:15人 ・自立訓練(機能訓練):15人 ・施設入所支援:40人
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	211,938,988	216,532,445	210,165,342	219,616,112	235,773,416	
支出合計	208,079,894	205,831,099	211,008,777	216,192,085	220,560,785	
収支差額	3,859,094	10,701,346	△ 843,435	3,424,027	15,212,631	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	107人	106人	103人	109人	111人	生活介護 45 短期入所 12 機能訓練 15 施設入所 39
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

<p>令和3年度に協会が策定した「第5次中期経営計画」(令和4年度～令和8年度)、「社会福祉充実計画」(令和4年度～令和13年度)及び施設の管理運営方針に沿って、実施事業である自立訓練(機能訓練)、生活介護、施設入所及び短期入所の各事業において、利用者に安心・安全なより質の高いサービスを提供した。</p> <p>自立訓練事業では、利用者の確保が難航したものの、これまで関係のあった医療機関及び相談支援員との繋がりを強化した結果、新規利用者7名を受け入れた。今年度は、サービス終了利用者が12名にも上ったが、令和5年度末には定員15名に対し利用者14名となり、年間を通して安定した実績(年間平均利用者数13名、年間利用率86.6%)を維持することができた。利用期間が1年6ヶ月間と短く常に新規利用者の獲得が必要のため、関係機関との繋がりを強化し、利用者確保に努めた結果、大幅な利用率の向上に繋げることができた。</p> <p>生活介護事業では、利用者の機能低下による転倒や緊急的な医療の関わりが多く、骨折により入院する事例が見られたが、ベッドからの離床時に転倒が多発することから、離床センサー付きベッドを有効活用し転倒に至る前に現場に駆け付けことが多くなり、重症化する前に対応することができた。益々、支援ニーズが複雑化・多様化する中において、利用者個々の状況に応じた個別対応を心掛けた。コロナ禍で中止していた外部講師による活動や利用者の外出活動は感染防止に留意しつつ徐々に緩和し、中止時の創意工夫を凝らしたメニューを含め、利用者の満足度向上を図った。</p> <p>管理面では、施設外周路や訓練棟への通路の段差により、車椅子通行に支障がある部分の段差解消工事を行いつまづきや転倒防止に努めた。</p> <p>医務関係では、基礎疾患を抱えている利用者が多いことから、日常生活動作や体調の変化の早期発見に努め、円滑な受診行動をとることで適切な治療を受けることができた。また、職員にコロナ発生時のガウンテクニック研修を実施指導し、実際に年末のクラスター発生時に役立った。</p> <p>また、感染症対策にあたって、必要となる衛生用物品・抗原検査キットの在庫状況や衛生的に保管するための倉庫類の整理に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策では、国や県の指導及び感染状況を踏まえ、利用者並びに職員の検温など健康観察の強化、活動内容の変更や面会・外出・来所者の制限等を機会あるごとに見直しながら感染予防対策を継続してきた。当所でも年末に利用者6名(内1名重症化)、職員3名のクラスターが発生したが、早急な施設内ゾーニング対策により感染が拡大することなく終息に至ったので、利用者支援と施設運営に大きな脅威となった年越しであったが、感染防止対策を徹底しながら利用者への福祉サービスを継続することができた。</p>
--

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、施設の維持管理や利用者へのサービスの提供を適切に行った。

本施設は、障害者入所施設であることから、施設内感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがある。そのため、昨年度に引き続き、職員や利用者への早期のワクチン接種を呼びかけ、感染拡大期には職員に原則週1回のPCR検査を行うよう要請し、さらに職員や利用者に感染疑いが生じた場合は、直ちに状況を報告させ、陽性が確認された場合には必要な対応を指示することとした。

また、利用者の確保が難航していた自立訓練事業では、関係機関との連携を強化し利用率の向上に努めた。

利用者満足度調査では、どの設問においても、「どちらかと言えば満足」以上が88パーセント以上を占め、高い水準を維持しており、様々工夫しながら利用者の立場に立った支援を行っている。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

基本的な感染対策や早期のワクチン接種、職員のPCR検査を実施した。また、感染の疑いが生じた場合には、直ちに関係機関に連絡することとした。結果、新型コロナウイルス感染症の影響は年末に一時的に広がるがあったが、事前にガウンテクニックやゾーニングを踏まえた対策を準備していたため、運営に大きな支障が生じること等もなく、利用者へのサービスの提供を継続することができた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県障害者援護協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	生活介護	41	42	42	45	45
	短期入所	14	14	14	13	12
	自立訓練(機能訓練)	15	13	10	12	15
	施設入所	37	37	37	39	39
	利用者数合計	107	106	103	109	111
	目標値	115	115	115	115	115
	実績/目標割合	93.0%	92.2%	89.6%	94.8%	96.5%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする				
利用率	稼働率等(利用率)	93.0%	92.2%	89.6%	94.8%	96.5%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 20人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(46人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
----------	---

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県	周遊路段差解消工事	5,606,700
管	西側洗濯室衣類乾燥機異音修理2台	97,922
管	Dユニット配管詰まり修理	66,000
管	イージーアップキャスター交換修理	42,636
管	非常誘導灯バッテリー交換修理	42,350
管	浴室スライドインバス修理	34,320
管	センサーベッドケーブル交換修理	21,560
管	PHS電話機修理 他6件	274,120

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	25.463円/本	146,720	
1	随意契約	30.556円/本	119,564	
1	随意契約	20円/本	75,100	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>利用者の安全とともにサービスの提供が円滑に行われるよう、建物・施設周辺を管理担当職員が主体となって、設備等の保守管理に努めた。併せて年度末には、1級建築士による建物設備の法定点検を実施した。</p> <p>また、消防防災設備については、防災担当者が毎月自主点検を実施。火災報知器・非常通報装置などの特殊機器は、委託した専門業者により定められた期間ごとに法定点検を実施した。</p>	<p>概ね適正に維持管理が実施されている。長寿命化点検、建築基準法に基づく点検等の結果を踏まえ、引き続き、利用者の安全を最優先とした整備の計画・実施をお願いしたい。</p>
運営業務	<p>利用者及び家族に対し、施設が掲げる当該事業の基本方針や支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた個別支援計画に基づいた支援を提供した。</p> <p>職員は、虐待防止チェックリストを活用し、自らの支援姿勢や態度を省みて、より質の高いサービスの提供に繋げた。調査の結果については、虐待防止委員会で検証し周知を図った。</p> <p>衛生面では、新型コロナウイルス感染者が随時発生しつつも、ゾーニングで拡大防止に努め、事業停止することなく継続運営することができた。</p>	<p>概ね適正に運営されている。引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供をお願いしたい。</p> <p>また、今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策に配慮しながら適正な運営に努めること。</p>
利用状況	<p>施設利用促進のため、ホームページを担当職員により都度速やかに情報更新し、リアルタイムでの事業実施状況やPRの発信に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染防止対策についても情報を更新し、面会の再開など関係者へ向けて情報を提供した。</p> <p>自立訓練にあつては、有期限の事業であるため、新規の利用者獲得に向け、リハビリ病院や関係機関との関係を強化し、安定した利用率の確保に努め大幅に利用率が上がった。</p>	<p>ホームページでリアルタイムの情報発信を速やかに行うことで、利用促進に努めている。</p> <p>また、自立訓練においては、関係機関との関係を強化した結果、利用率の大幅上昇に繋げた。</p> <p>引き続き、利用者の確保に向けた対応を実施していただきたい。</p>
収支状況	<p>収入については、自立訓練事業や短期入所の利用者増により大幅な増収となった。また、県より電気料金高騰による差額分を委託料として受けることができた。</p> <p>支出は、収入の増により15年使用していた送迎用自動車を1台入れ替えることができた。他消耗品などは節約により事務・事業費では昨年並みに抑えることができ、結果的に収支プラスとすることができた。</p>	<p>大幅な収入増となる中、適宜経費の節減を行い、安定した施設経営を行っている。</p> <p>引き続き施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減を行うとともに、施設経営の安定に努めること。</p>
自主事業		

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

<p>利用者満足度</p>	<p>施設設備や支援内容等について、満足度調査では昨年と同じ96%の利用者から「満足・どちらかといえば満足」との回答をいただいた。 要望等に対しては、その理由と事情について、利用者に丁寧に説明し、納得していただけるよう心掛けた。 また、施設内の接遇面においても職員の自己チェックを活用して振り返るとともに、評価の低い項目にあつては、改善のため強化月間を設けて対応した。</p>	<p>どの設間においても、「どちらかと言えば満足」以上が88%以上を占め、施設利用者の満足度は高いという結果となった。 引き続き利用者が満足を得られるよう努めるとともに、低評価項目への改善に努めていただきたい。</p>
---------------	--	--

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>施設利用者の満足度向上のための取組み</p>	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を評価指標として、目標値を80%と設定。 職員会議等における調査結果の共有や利用者への丁寧な説明等を行い、「満足・どちらかといえば満足」の割合がいずれの設間においても88%以上となって、目標を達成した。</p>	<p>満足度調査結果の分析や職員による検討会を行う等、引き続き利用者の要望に可能な限り対応すること。 他の項目と比較して「満足・どちらかといえば満足」の割合が低い「食事」「訓練活動内容」について、可能なことについて改善を図り、改善が困難なことについては、利用者に丁寧に説明し理解を得るよう努めること。</p>
<p>感染症対策</p>	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者への早期のワクチン接種を呼びかけるとともに、感染が拡大した時期には、職員に原則として週1回のPCR検査を行うよう要請した。 PCR検査検体の提出日における提出割合を評価指標とし、目標値を100%と設定。 結果、提出割合は100%となったが、年末にクラスターが1件発生した。しかし、迅速に対応し、感染拡大防止を図った。1名重症化したが、その後退院し後遺症もなかった。</p>	<p>令和5年5月以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となったが、多数の者が施設を使用することから、引き続き感染対策を実施されたい。 また、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

